

京都府ドッジボール協会
協会員 各位

2020年11月16日

京都府ドッジボール協会
理事長 斎藤 誠

活動範囲レベル見直しのお知らせ

秋も深まりを増して、少し寒くなって参りました。
皆様に於かれましては、健やかにお過ごしのことと存じます。
いつも協会の活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。
皆様におかれましては、健やかにお過ごしのことと存じます。
どうぞ、体調を崩されませぬようご留意ください。

さて、京都府下に於けるコロナ感染者数の増加及び全国的にも感染者数が増して来ております。
2020年11月14日、京都府ドッジボール協会理事会に於きまして、今後の活動範囲の見直しを図りました。

チーム活動範囲を「ステップ2」に変更する事が承認されました事をご案内致します。
上記判断に至る背景は以下の通りです。

京都府下に於ける実効再生産数の指標が1以上が10月28日以降17日間継続中です。

今後、尚一層の感染対策を意識しての活動をお願いする次第です。
今後、実行再生産数指標を基に活動範囲レベルの見直しを随時行って参ります。
ご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

注) 実効再生産数とは「1人の感染者が平均して何人に感染させるか」を表す指標。
(計算式監修は北海道大学大学院医学研究院)

値が1を超えた状態であれば、感染は拡大していき、数値が大きいほど拡大の規模は大きくなります。
値が1未満の状態であれば、感染は収束していき、数値が低いほど収束スピードは早くなる指標です。

<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/?fbclid=IwAR1Ihy5EC9WMOmSrzcEo6tYFKUvcbXwEY8QXgt8DVqZ6tyTzxKf4m7dOlb0>